

会議名	第8回新城地域協議会		公開
日時	平成30年3月15日(木) 午後7時00分～午後9時00分	場所	新城まちなみ情報センター 2階 多目的スペース
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、柿原典子、夏目文男、加藤賢一、伊藤美代子、 笹田明男、石野敏弘、野末史朗、藤村信芳、村田孝司、森正彦、 後藤幸子、鈴木健二、石黒謙治、上田寿彦、奥平宏幸、村田博和、 今泉栄、村澤光美		
	(事務局) 自治振興課：三浦理事、黒田主任 新城自治振興事務所：鈴木所長、川合主任		
欠席者	(委員) 稗井修、山田敏晴、牧野直美	傍聴者	なし
配布資料	次第、地域計画(素案)、しんしろ茶話会(子育て)チラシ、平成 29年度新城自治区予算事業の執行状況について、地域づくり講 演会チラシ		

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名 (奥平宏幸委員、村田博和委員)</p> <p>2 議事 (1) 新城地域計画(素案)について 第3回地域計画分科会で方針決定した、新城地域計画(素案)に沿って事務局から説明した。計画の策定は、過去に行った茶話会等で地域の方たちから出た意見をもとに、安全・安心、高齢化対策、子育て支援、賑わいの4つの柱で策定されたこと、策定にあたっては、それぞれの分野で活動している地域活動団体と地域計画分科会の委員が一緒になって検討してきたことを説明した。ただし、子育て支援の柱に関する計画については、団体との日程調整の結果、この協議会までに話し合う機会が持てなかったため、子育て支援に関する計画が記載されていないことと、来年度も引き続き策定していくことを説明した。 以上について説明し、地域計画(素案)が協議会で決定され、市のホームページで公表することとして決定された。 また、八名地域協議会が作成した地域計画のPR動画を参考として視聴し、新城地域協議会でも来年度動画の作成を検討していきたいとの意見があった。</p> <p>主な意見 (委員) 今年度実施した、高齢者生活支援事業と高齢男性外出支援事業の参加者数等について分かれば教えていただきたい。 (事務局) アンケート結果の集計作業がこれからなので、引き続き協議会委員になられる方については、協議会の中でお知らせさせていただき、委員を辞められる方や地域の方へは地域協議会だよりでお知らせさせていただく。</p>
--

(2) 平成30年度への引継ぎ事項について

出席委員全員から、今年度の新城地域協議会の運営について気づいた点などを出し合い、次年度への引継ぐべきことがあれば、その都度確認していく形とした。

主な意見

(委員) 地域活動交付金審査会の審査方法の理解に苦勞した。

(委員) 過去において様々な問題が出てきているが、少しずつでも、ここでその問題を1つずつつぶしていければいいと思う。

(委員) 今年度から地域計画の策定に入ったが、もう少し現状把握をしっかりすべきだと思う。細かいところまで、人のこと、企業のこと、まちなかのことなどをもっと勉強しないとイケないのではないかと感じている。

(委員) 地域協議会に長く携わってきたが、年を重ねるごとに内容が充実してきていると感じた。それは、委員の皆さんが色々な情報を得て事業を提案してきた結果だと思っており、地域にいい変化をもたらしていると思う。

(委員) 交付金事業について、金額の重みを感じた。また、交付金事業に応募する団体が固定傾向にあると感じた。やはり新規事業で応募しようと思うと、書類作成やプレゼンの準備などの事務量が多く、ハードルが高いのではないかと感じた。新城に生まれ新城で育ったが、まちなかのお店がなくなっていく、まちがやせていくのを見るのはつらい。観光で外から人を呼び込みたいと考えている。私は電車をよく利用するが、新城駅前に案内看板がないことが気になっている。地域計画の説明の中でも話があったが、新城駅から桜淵をとおって、東新町駅まで歩いていけるようなロードマップがあるといいと思う。市外や県外へ出る機会があるが、自分の住むまちの自慢をできることと言えば、鳳来地区のことが多い。この新城のまちなかを自慢できるような何かができればと思う。

(委員) まちなかへ出て、人と行き会うことがなくなってきた。原因を考えると、高齢化が原因なのではないかと思う。このため、区で三世代交流イベントなどを行っているが、そういう時は活気があると感じる。

(委員) 協議会の委員構成を見ると、男性が多く、また年齢層も高い。これを解消するために何かいい手はないかと思っている。テレビで見たが、ヒット商品が生まれた背景に、ネット上の井戸端会議のサイトがあるそうで、そこから意見を吸い上げて商品開発し、ヒットしたとこのことである。協議会でも、例えば茶話会をネット上でやってみるなどの試みもいいと思う。しかし、匿名性があり、誹謗中傷も出てくるかもしれないが、それを差し引いても、プラスの効果が期待できると思う。

(委員) 会議の場所についてだが、ここは明るくていいと思う。暗い場所ではいい意見が出ない。これまで協議会委員として務めてきたが、協議会について会議の趣旨が分かりにくいと感じた。自分が一体何を求められているのかが分かりにくかった。区長だから来ている、お役で来ているという感覚があった。区長としての仕事なのか、区別がしにくいということもある。なぜかということを考えて、この協議会でやることが多いからであると思う。交付金事業だけを1年かけてじっくりやるということでもいいのではと思う。今年度地域計画がスタートしたが、更に負担が大きくなってしまっている。仕事を増やす必要はないと思う。また、委員構成として区長が協議会委員として出てきているが、区長でなければならないとは思わない。また、協議会でせっかく地域の人が集まってくるのだから、情報交換を積極的にできればと思う。

(委員) 地域計画の策定に携わり、地域活動団体の方々とお話しをさせていただいたが、団体の構成員も高齢化が進んできており、対策が必要だと感じた。また、

まちなかには空き家が増えてきているので、これを利用してしんしろの特産品などを加工して販売するようにできればいいと思った。

(委員) 区のごことは区から情報が入ってくるが、地域のごこととなると中々情報が入ってこない。そういった中で、この協議会を通じて地域の皆さんと知り合うことができ、地域の情報を得ることができた。地域計画分科会に入り、地域の方から色々という意見を拾い上げ、計画素案としてとりまとめをした。今後は事務局とも打合せをしながらより一層、計画の具体化に向けて進めていきたいと思う。八名地区では地域計画の動画を作成しているが、この地域でも素材はたくさんあるので、こういったものも作成できると思う。

(委員) 地域の皆さんが、この地域自治区制度についてどれだけ知ってくれているかということ。自治区予算のごことなど、住民の皆さんに知っていただけないように思う。知っていただければ、交付金事業ももっと出てくるのではないかと思った。自分自身ももっとこの自治区制度のごことを広めていきたいと思う。

(委員) 区長の仕事、区長が兼任する仕事が多くなっている。地域の人口は多いが、仕事が多すぎて区長のなり手がなくなる状況も危惧している。この協議会の中でも、区長でなければならぬという案件もなかったのではないかと思う。例えば副区長が協議会へ出るということも考えてもいいと思う。区長の責務を少しずつ他の方へ移行していきたいとも思っている。また、高齢者生活支援事業で、資源回収の代行を行っているが、高齢者の方が資源回収の分別ができず、支援者の方が分別しなければならないという実態があり、負担が多きすぎるとの意見が出てきている。そういった意見も取り入れて検討していただければと思う。

(委員) 地域計画に携わってきたが、4つの柱それぞれの課題は全て近所付き合いが希薄になってきているというところからきていると思う。そういった人と人との繋がりをどうしたらつくれるようになるのかということについて考えてきた。この協議会に出てきている皆さんは、ご近所付き合いは良好だと思うが、そうでない人、取り残されている人がいると思う。また、同じ世代では繋がっていても、別の世代とは繋がっていないので、なかなかうまくいっていないのかなと思う。それができるのであれば、この地域計画がなくてもいいのではないかとも思っている。

(委員) この会場に来るまで旧国道を歩いてきたが、歩道や街灯も少なく危険であると感じた。また、地域計画で桜淵のごことについて取り上げられているが、東新町駅から桜淵公園前の交差点までは歩道が整備され、陽光桜が植樹されているが、そこから先、新城高校の東側の道路は未整備となっている。散歩をしながらあそこの道がもっと明るくなるといいなと思っている。また、協議会の委員は自分も含め、年齢が高くなっているが、若い人たちからの意見を吸い上げる場が必要だと思っている。

(委員) 今後の自治区予算については、地域計画に沿って立案していくべきだと思う。地域計画の策定にあたっては、色々な世代からの意見を聞くべきだと思う。区長が会議に出られている意義は、地域の色々な意見を一番把握しているのは区長であるため、この協議会に入っているのだと理解していた。ただ、区長の負担が大きくなっているということも理解できるので、来年度以降検討していくということによいと思う。高齢男性の外出促進事業として映画祭に携わったが、男性よりも女性の参加率が高かった。男性のアンケートを見ると奥さんと来たいという意見があったが、女性は友人と来たいということで、当然女性の方が多くなってしまうという結果につながっていると感じた。また、映画祭が賑わいにも繋がっていくとのことで、採算面も考えて地

域外へも積極的に呼びかけしていくようにできればと思った。また、この地域の資源は、桜淵とお祭りだと思う。また、ハードルは高いと思うが、空き家を資産として活用できないかと思っている。色々な人の意見を取り入れてこの空き家の活用を積極的に考えていければと思う。

(委員) 防災の関係で、水の確保が課題であると思う。飲料水以外の洗濯等の水の確保をするため、田町の清水の有効活用を検討していければと思っている。

(事務局) 委員構成について、区長の負担軽減という観点から、区長を外すという話があったが、来年度の委員は既に選任いただいているので、来年度の協議会の中で、検討していくべき事項になると思うので、これについて来年度の委員へ引継ぎとして伝えたいと思う。

3 その他

(1) 平成29年度自治区予算事業の執行状況について

今年度執行した自治区予算事業の内容と執行状況について事務局から説明した。

(2) 地域活動交付金募集について

平成30年度の地域活動交付金事業の事前相談について、2月16日に各戸配布させていただいたことを事務局から報告した。また、4月1日には交付金事業の募集チラシを回覧する予定であることを事務局から報告した。

(3) 地域づくり講演会について

事務局から、3月18日(日)の午前9時30分から新城開発センターで開催される地域づくり講演会の案内を行った。

(4) その他

新年度の委員予定者に来年度の第1回目の協議会の日程調整表を送付してあるので、3月23日(金)までに返信するよう事務局から再度依頼した。